

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 361005

車両情報

スバル フォレスター
平成27年10月～

SJ#系

1/3ページ

ES-89Light **Type** N.L.
Opt.

❶ イモビライザー無し車のみ

◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

❶ 各配線の取り付けについては、2/3～3/3ページをご覧ください。



❶ 運転席側・助手席側カバー類の外し方

- ① 右サイドのカバーを外す。…車室外側(ドア側)に引っ張り外す。
- ② アンダーカバーを外す。…右側にネジ(1本)
- ③ 右サイドステップカバーとサイドのカバーを外す。

※④は助手席側サイドカバー内(3/3ページ参照)へ配線をする場合のみ外す。

- ④ 左サイドステップカバーとサイドカバーを外す。

止めネジ等



❶ この資料は、メーカー発行の車両配線図をもとに作成してあります。実車での見取り結果ではありませんので、実際は異なる場合があります。取り付け時はこの図を参考にして、各信号をテスターで確認しながら配線してください。

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 361005

車両情報

スバル フォレスター

SJ#系

2/3ページ

ES-89Light

Type N.L.

平成27年10月～

Ⓛ イモビライザー無し車のみ

Opt.

Ⓛ 注意事項

- ①イモビライザー装着車には、エンジンスタートの取り付けできません。
- ②CN2ハーネスのPポジション（青色）は、必ず配線してください。
（配線を行わないと、オートマチック車認識設定ができず、エンジンが始動しません。）
また、オートマチック車認識設定は本ページを参照してフットブレーキを使用して行ってください。

Ⓛ 特有の注意事項

※セキュリティ機能、またはオートロック機能を使用する場合は、CN2のドア検出配線は別売のドア信号検出ユニットⅡ（商品コード：EP131）を使用して、必ず3/3ページのとおり接続してください。
なお、全てのドア開閉検出を行わない場合は、運転席ドア線（本ページに記載）に接続してください。

Ⓛ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。

オートマチック車認識設定

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。

- ①車両のイグニッションをONにする。
- ②リモコンでSTOPを押す。
- ③車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後（約3秒後）ブレーキを放す。
- ④車両のイグニッションをOFFにする。
- ⑤設定完了
※設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色

フットブレーキの上側
4P白色カプラ

Ⓛ 必ず配線する

Pポジション (青)
白/赤

Ⓛ 通常時：0Vで、フットブレーキを踏んだとき：12V

コラム右下側
14P白色カプラ

ホーン (緑)
赤 or 青

Ⓛ 機能付き車種のみ配線

グローブBOXを外して右側
アイドリングストップCU奥側の
26P白色カプラ

L端子 (茶)
薄緑/黄

コラム内右下側
キーシリンダ直付け

専用ハーネス
VT127B

サイドカバー内上側
運転席ドアへの
28P白色カプラ

Ⓛ アンロック (黄)
青/黒

Ⓛ ドアロック (灰)
空色

Ⓛ 専用ハーネスのアース (黒) 取り付け位置：
右サイドカバー内のアースポイントボルトに
共締めする。

右サイドカバー内下側手前
22P白色カプラ

ドア (紫)
白

Ⓛ 運転席ドアの開閉のみ検出

Ⓛ この資料は、メーカー発行の車両配線図をもとに作成してあります。実車での見取り結果ではありませんので、実際は異なる場合があります。
取り付け時はこの図を参考にして、各信号をテスターで確認しながら配線してください。

車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 361005

車両情報

スバル フォレスタ
平成27年10月～

SJ#系

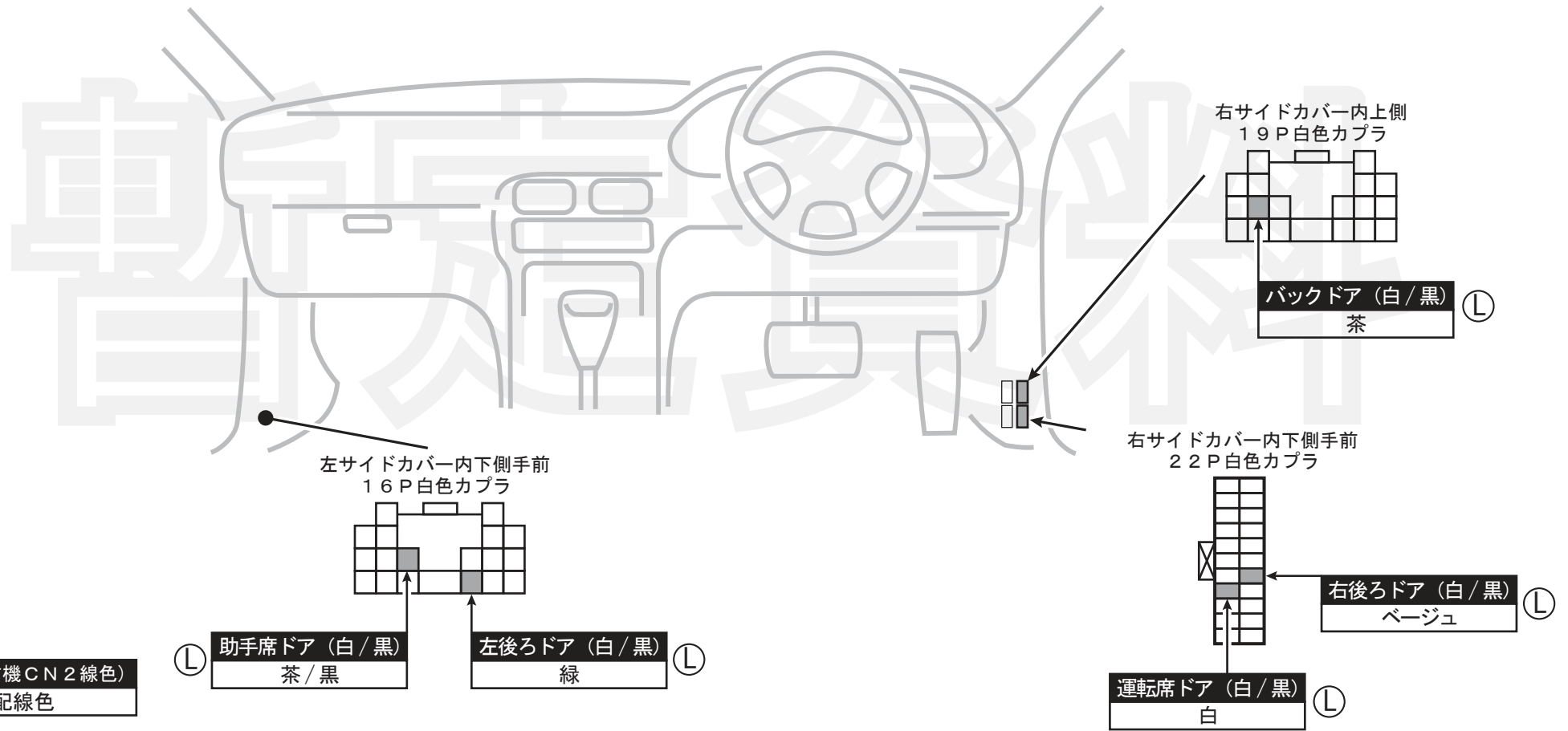
3/3ページ

ES-89Light

Type N.L.
Opt.

Ⓛ イモビライザー無し車のみ

Ⓛ オートロック機能を使用する場合、及び全てのドア開閉検出を行う場合は、別売のドア信号検出ユニットⅡ（商品コード：EP131）を使用して、CN2のドア検出配線（紫）は、必ず下記の5箇所に分岐接続してください。



Ⓛ この資料は、メーカー発行の車両配線図をもとに作成してあります。実車での見取り結果ではありませんので、実際は異なる場合があります。取り付け時はこの図を参考にして、各信号をテスターで確認しながら配線してください。